

マルコ電機技術株式会社の 株式取得に関する補足説明資料



2026年6月15日

ポエック株式会社 / 証券コード 9264

株式取得の概要

受電変電設備工事のスペシャリスト集団として高い技術力を有するマルコ電機技術株式会社(本社:兵庫県たつの市。以下、「マルコ電機技術」という。)の発行済株式の全株式を取得し、完全子会社化。



マルコ電機技術がポエックグループに加入

—グループ・パーパス— 技術を軸に、自然と経済の好循環を未来へつなぐ



New!!



コーベックス株式会社

東鉄工株式会社

マルコ電機技術の概要①

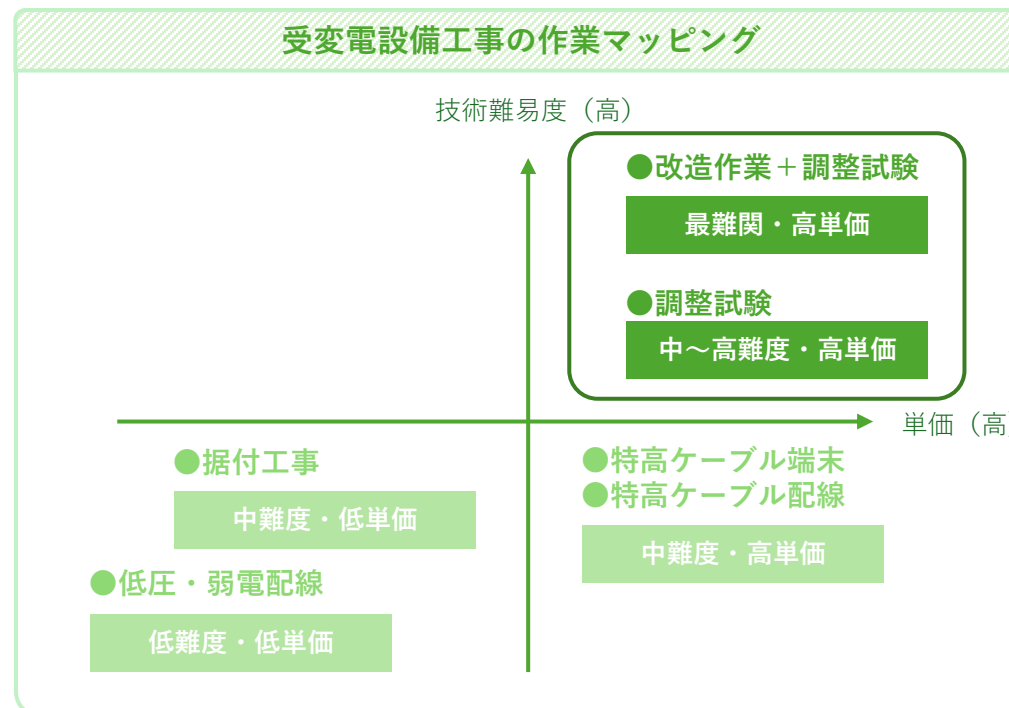
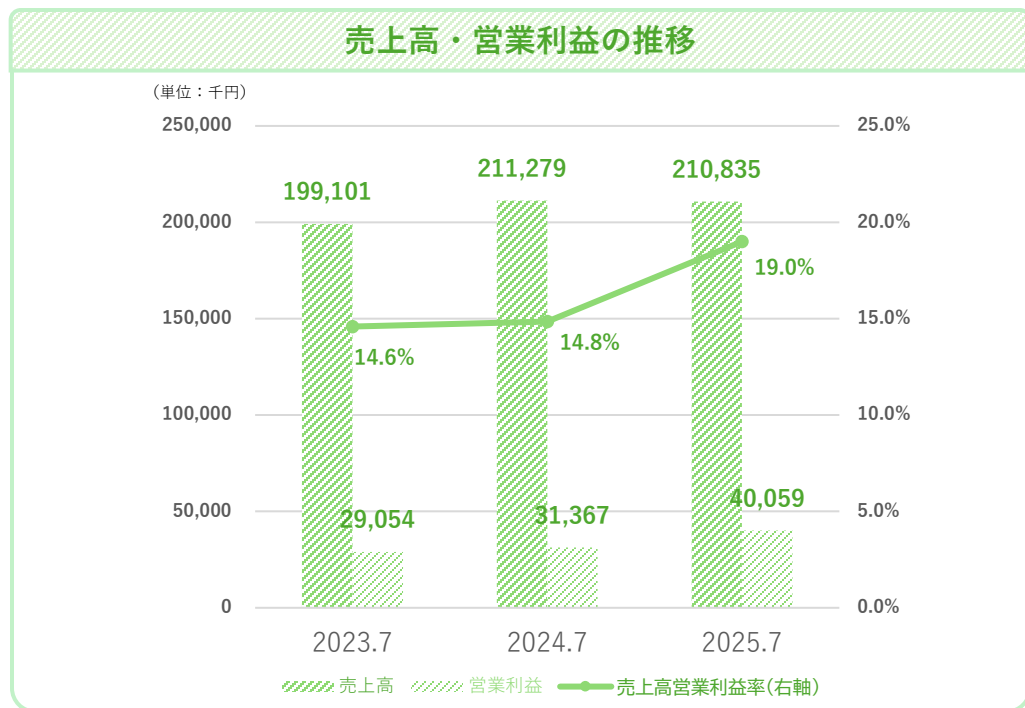
兵庫県たつの市に本社を置き、近畿・中国エリアにおいて30年以上に亘り事業を展開。卓越した技術力・現場品質を重視し、受変電設備の安定稼働を支える。

名 称	マルコ電機技術株式会社
所 在 地	兵庫県たつの市神岡町大住寺625-1
代表者の役職氏名	代表取締役社長 小林 邦由
事 業 内 容	受変電設備に関する現地調整試験・改造業務 受変電設備に関するリレー試験・部品交換等の メンテナンス業務
資 本 金	10,000千円
発行済株式総数	200株
設 立 年 月 日	1995年8月21日
従 業 員	7名



マルコ電機技術の概要②

受変電設備工事領域の中でも高単価な調整試験・改造業務に特化しており、高収益基盤を確立。



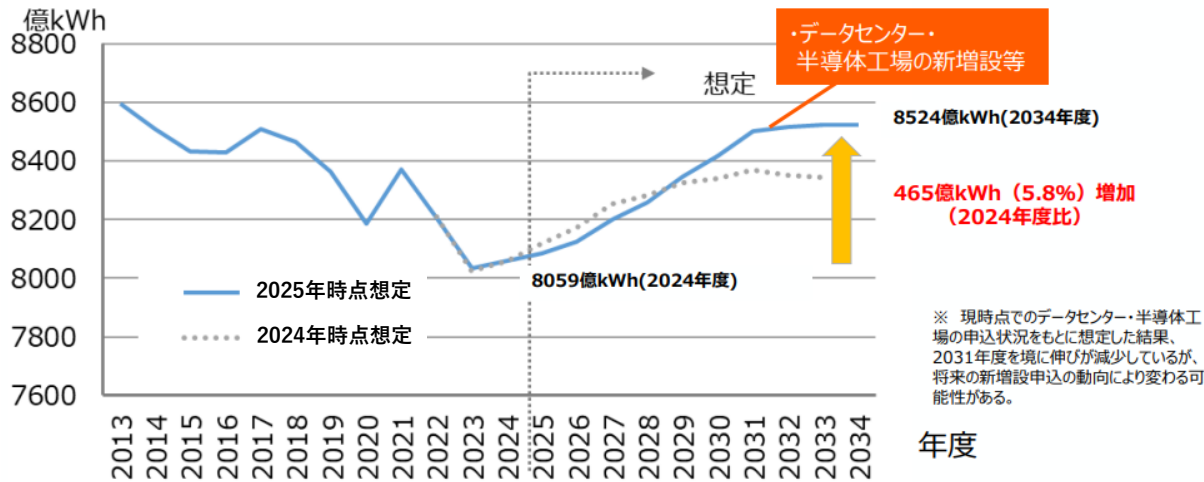
受変電設備工事領域の中でも高い専門性が求められる調整試験・改造に特化しており、競争優位性を有しており、高収益が見込まれる。また、第1種電気工事士の資格保有率が高く、人材レベルが高い。

マルコ電機技術の事業領域の市場動向

データセンターや半導体工場の新増設等を背景に、国内の電力需要は今後10年間で増加が見込まれており、マルコ電機技術の事業領域である電力関連市場においても、需要拡大の追い風となることが期待される。

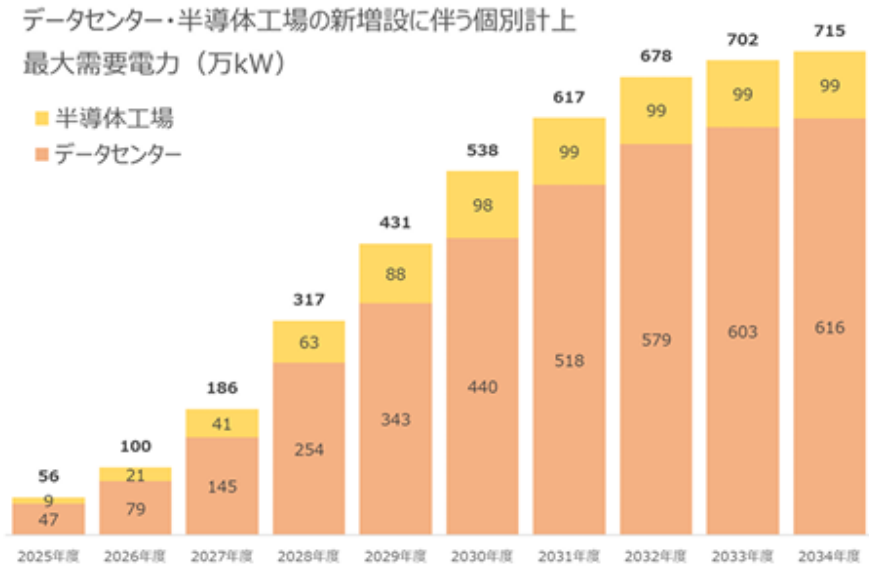
今後10年の電力需要の想定（電力量）

需要電力量（全国合計）の想定



データセンター・半導体工場の新増設による影響（全国合計）

データセンター・半導体工場新増設に伴う最大需要電力（全国合計）



マルコ電機技術の主な業務フロー

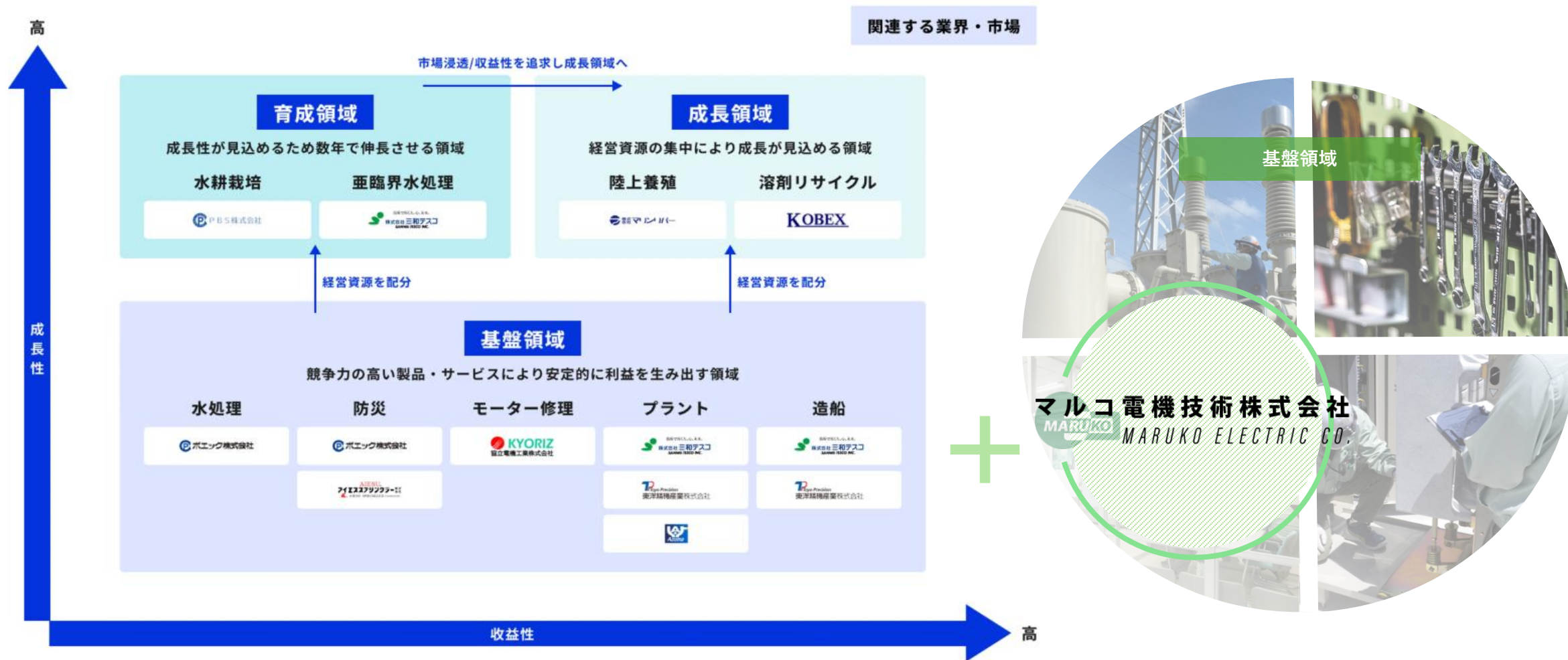
マルコ電機技術は、受変電設備工事の各工程に対応する高い技術力と現場施工力を有し、電力インフラ整備を支えている。

マルコ電機技術の受変電設備工事の主な業務フロー



ポエックグループのポートフォリオ

マルコ電機技術がポエックグループに加入することにより、基盤領域が拡大され、安定収益と事業ポートフォリオのさらなる強化が期待される。



ポエックグループの成長の方向性

既存事業の連続的な成長と
M&Aによる非連続な成長、
新規事業への投資・育成により
グループの長期的な成長を実現

売上高
目標
200
億円超

売上高
実績
100
億円

3 新規事業への投資・育成

亜臨界水処理装置の工場新設
(2026年6月稼働) 及び受注拡大

2 M&Aによる非連続な成長

きらりと光る技術を見つけ、育て、活かす
M&A戦略で更なる事業拡大

1 既存事業の連続的な成長

営業/マーケティング/生産能力の強化等により
安定的かつ着実な成長を実現

PBS株式会社

マルコ電機技術株式会社
MARUKO ELECTRIC CO.

AIESU SPRINKLER Corporation
アイエススプリンクラー株式会社

AZUMA

株式会社 マリンパラー

KOBEX

2026年8月期
グループイン

Precision
東洋精機産業株式会社

電動機メンテナンスのプロ
KYORIZ
協立電機工業株式会社

2024年8月期
グループイン

ポエック株式会社

株式会社 三和テスコ

国策とポエックグループのソリューション

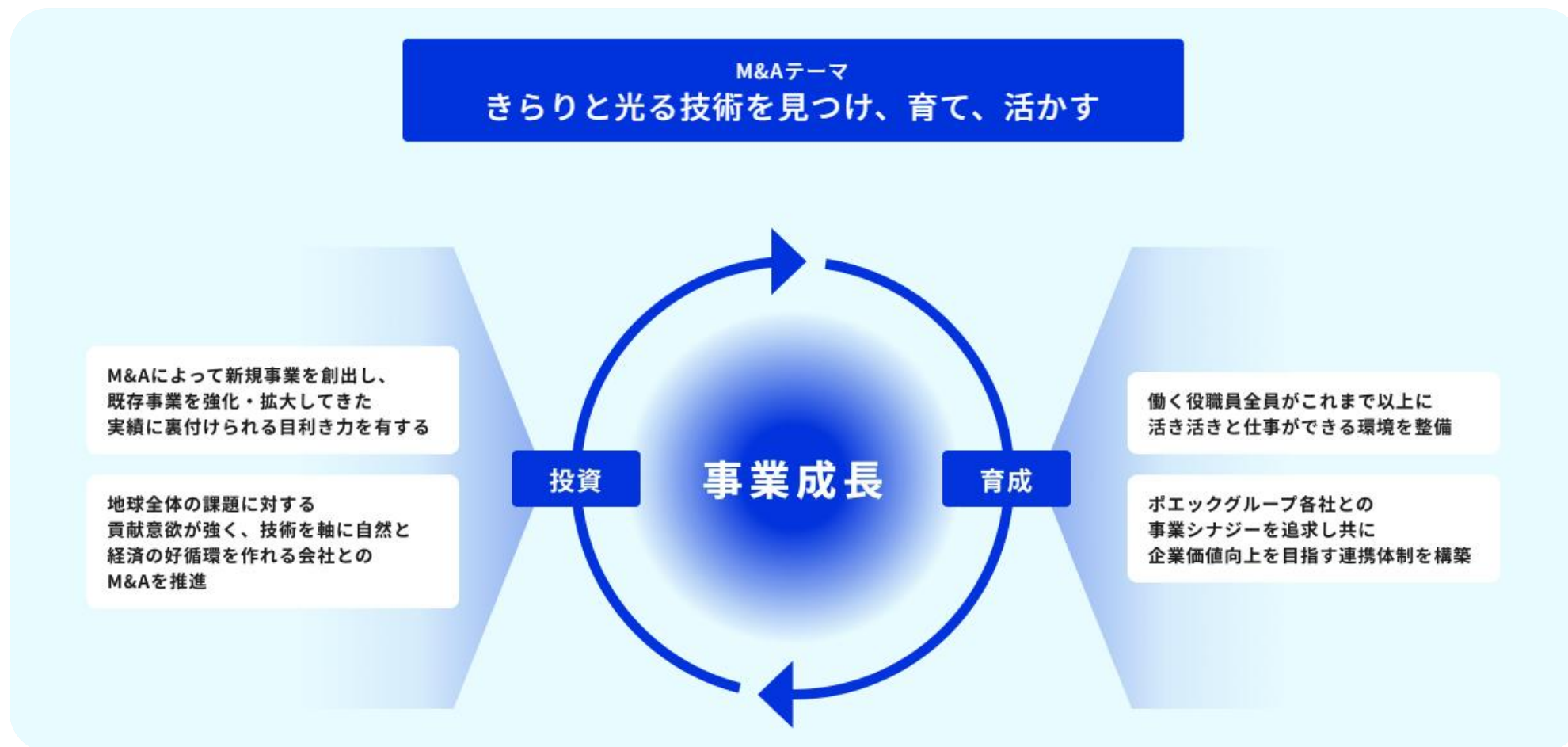
ポエックグループは、現政権が重点投資対象と位置付ける「戦略17分野」と親和性の高い事業領域において、培ってきた技術を軸に市場の期待を超えるソリューションを提供し、更なる成長を目指します。

戦略17分野 (関連性が高いもの)	グループのソリューション	関連するグループ会社
造船	<ul style="list-style-type: none"> 三和テスコ・東洋精機産業が船舶用エンジン関係の機器を製造 三和テスコにおいては環境対応型のエンジンを製造 	 
資源・エネルギー・ 安全保障・GX	<ul style="list-style-type: none"> 資源・GX分野では三和テスコ・コーベックスが資源リサイクルの装置を製造 GX分野では東鉄工が鉄鋼業向けにカーボンニュートラル対応の特殊バルブを設計・製造 エネルギー分野ではポエックが高効率・省エネ型ポンプ等の販売、協立電機工業が修理によるモーターの高効率化・長寿命化を支援 	     
フードテック	<ul style="list-style-type: none"> マリンリバーが陸上養殖設備として海水用ヒートポンプチラー・チタン熱交換器を設計・製造 PBSが水耕栽培装置を設計・製造 	 
防災・国土強靱化	<ul style="list-style-type: none"> ポエック・アイエススプリンクラーがスプリンクラー等の防災関連機器を製造 ポエックでは安全と美しい景観の両立に貢献する景観配慮型の防潮壁(SEEWALL)を工事・販売 	 

New!!

ポエックグループのM&A戦略

“きらりと光る技術を見つけ、育て、活かす”をM&Aテーマに掲げ、ポエックグループの経営資源を、持続的な事業成長につなげていく。



免責事項

本資料に記載されている内容のうち、過去または現在の事実に関するものを除く将来見通し等は、本資料作成時点において当社が入手している情報および一定の前提に基づき、当社が合理的であると判断したものです。

これらの将来見通し等には、前提条件の変動、不確実な要素、経済環境・市場環境の変化、その他さまざまな要因が含まれており、実際の業績、財政状態、事業展開等は、本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載された将来見通し等は、本資料の日付時点、または本資料中に別途明記された時点における判断に基づくものであり、当社は、法令または金融商品取引所規則等により必要とされる場合を除き、これらの情報を更新または修正する義務を負うものではありません。

なお、本資料に含まれる当社グループ以外の企業、団体、市場環境等に関する情報は、公開情報その他当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、完全性、妥当性等を保証するものではありません。

本資料の利用により生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。